

## 理由書

熊本都市計画区域に属する本町は、これまで、なかよし公園など5カ所の公園を都市計画公園として決定しており、良好な都市景観の形成や快適な都市生活の確保及び豊かな地域づくりに資する交流の空間を提供してきた。

今回変更する菊陽杉並木公園は、町の中央部に位置し、平成10年に都市公園として供用開始した総合公園であり、菊陽町都市計画マスタープランに、都市機能拠点「交流拠点：人と人が交流し、やすらぎを得られる拠点」「防災拠点・地域避難拠点：災害時に町民の安全確保や防災機能を有する拠点」として位置付けられており、平成31年には菊陽町総合体育館を含めた区域において都市計画決定が行われている。（現公園面積約19.9ha）

公園内には総合体育館、サッカー、グラウンドゴルフ、アーチェリーなどに利用されているスポーツ広場、町民の憩いの場となるふれあい広場及び教養施設である図書館を有しており、公園の隣接には温泉、農産物直売所、スポーツジム等を備えた菊陽町総合交流ターミナル施設「さんふれあ」が立地しているほか、令和8年4月に開業予定の西日本最大規模の専用施設となる「くまモンアーバンスポーツパーク」の整備が予定されており、菊陽町を代表するスポーツ・文化・交流の拠点として賑わいを見せるレクリエーション施設群となっている。

第7期菊陽町総合計画（令和7年3月策定）には都市基盤に関する基本施策の具体的な取組の1つに、みんなが集える憩いの場や新たなにぎわいの拠点として、菊陽杉並木公園を拡張し、アーバンスポーツ施設などを整備することが位置付けられている。

また、菊陽町都市計画マスタープラン（令和7年3月策定）においても、公園・緑地の整備方針として「レクリエーション拠点と軸の設定」が掲げられており、菊陽杉並木公園やくまモンアーバンスポーツパークが一体となってレクリエーション拠点を形成することが示されている。

そこで今回、本公園を拡張し「くまモンアーバンスポーツパーク」を含めた一体的な公園施設として整備することで、町民の健康増進、地域間住民の交流を促し、更には災害時における町民の避難拠点としての機能の強化につながることを期待される。

本町の町民一人当たりの公園面積は9.1㎡であり、目標とする10㎡を満たしていないことから、都市公園の役割である都市環境の改善、都市の防災性の向上及び町民の活動や憩いの場の形成等の充足を図ることを目的に、公園区域の追加を目的として都市計画決定を行うものである。

熊本都市計画公園（菊陽町）新旧対照表

番号	名称	面積 (ha)		面積増減 (ha)	備考
		変更前	変更後		
2.2. 80	武蔵ヶ丘北公園	0.12	0.12	-	
2.2. 81	武蔵ヶ丘東公園	0.25	0.25	-	
2.2.103	中央公園	0.35	0.35	-	
3.3. 17	なかよし公園	1.20	1.20	-	
3.3. 35	鼻ぐり井手公園	3.10	3.10	-	
5.5. 5	菊陽杉並木公園	19.90	26.27	6.37	
合 計		24.92	31.29	6.37	